

声を出してチームを牽引



3月26日(日)から千葉県で開催されるJOCジュニアオリンピックカップ第19回都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会へ、岐阜県選抜チームとして出場することを報告するために、大橋稟選手が3月23日(木)に川地憲元町長を訪問しました。

町長は「ソフトボールにおいては、オリンピックで日本代表が金メダルを獲得するなどもあり、注目度が高まっています。全国大会で緊張するとは思いますが、練習の成果を発揮して悔いのないようにプレーし、町の代表として、県選抜として活躍されることを期待しています」と激励しました。

大橋選手は「守備ではキャッチャーとして、声を出すことでチームを引っ張っていきたいです。攻撃では1番バッターとして、出塁して得点に繋がれるように、1回1回の打席を大事にしたいです。将来はソフトボールの社会人チームに所属して、有名選手たちのように活躍したいです」と活躍を約束しました。

自分の持ち味を発揮して優勝へ導く

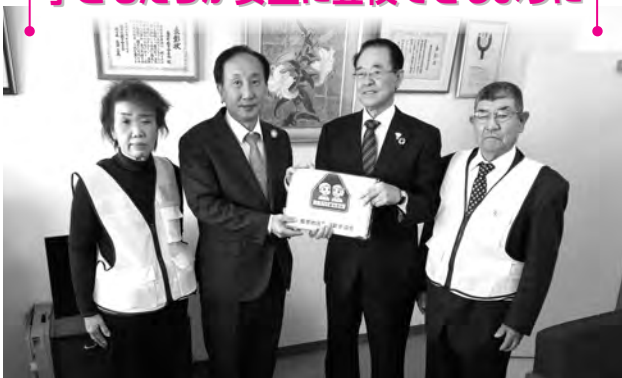


3月18日(土)から新潟県で開催される第9回全日本ジュニア(U17)水球競技選手権大会に出場する野村恵太郎選手と野村倫太郎選手、3月26日(日)から千葉県で開催される第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ春期水泳競技大会水球競技に出場する野村倫太郎選手(両大会に出場)と大橋龍生選手が、その報告のために3月13日(月)に川地憲元町長を訪問しました。

町長は「町の代表として、練習の成果や持っている力を存分に発揮して、活躍してきてください。また、いい報告にしてくれることを楽しみにしています」と期待を込めました。

選手たちは「出場した試合では、持ち味であるオフェンス力で勝利に貢献したいです」「ディフェンスからオフェンスへの切り替えを大切にして、優勝を狙って臨みたいです」「チームの軸として、チームを勝利へと引っ張っていきたいです」とそれぞれ力強く語っていました。

子どもたちが安全に登校できるように



3月28日(火)に、町内小学校に入学する新1年生が安全に通学できるようにと、養老地区交通安全協会より黄色いランドセルカバーが寄贈されました。この活動は、子どもたちの安全な登下校のために、20年以上続けられています。

西脇武敏協会長は「慣れない通学路を歩く子どもたちの安全を守るために毎年贈っています。子どもたちには笑顔で、安心安全に登校してほしいです」と話しました。ランドセルカバーは新1年生143人に配られました。

全国大会でもリラックス



第39回岐阜県小学生ソフトテニス秋期大会において優勝し、3月29日(水)から千葉県で開催される第22回全国小学生ソフトテニス大会へ出場するため、3月23日(木)に稲垣亜瞳選手が川地憲元町長を訪問しました。

町長は「県大会優勝おめでとうございます。全国大会に臨むにあたり、いつもとは違う環境の中でプレーすることになると思いますが、リラックスしていつも通り臨み、練習の成果を発揮して、いい結果を残してきてください」とエールを送りました。

稲垣選手は「今回は同じ学年での勝負になるので、この大会ではいい結果を目指したいです。ペアの子はひとつ歳が下なので、コミュニケーションをしっかりとってフォローしたいです」と大会へ向けての抱負を語りました。